

「2026年7月21日間卓話」

ロータリーについて考えてみよう

Rotary

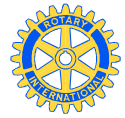


2740地区パストガバナー 地区研修委員
日本RLI地区代表ファシリテーター 駒井英基



ロータリーの樹・2026

ロータリーの樹・2026



「根」=『クラブ奉仕』

「幹」=『奉仕の理念(想)』

「枝・葉」=『職業奉仕』

『社会奉仕』

『国際奉仕』

『青少年奉仕』

「花」=『ロータリー財団』

ロータリーアンの義務

1 例会に出席する。

(病気や高齢者に対する出席免除規定あり)

(メーキャップすることで、出席の幅が広がる)

2 会費の納入

(クラブによって支払い方法、金額は異なる)

3 ロータリー-の広報誌の購読

(ロータリー-の友、The Rotarian等)

ロータリー目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通して、国際理解、親善、および平和を推進すること。

クラブの目的に2025年規定審議委員会で下記がさらに追加。

本クラブの目的は、「ロータリーの目的」の達成を目指し、五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施し、会員ロータリー財団を支援増強を通じてロータリーの発展に寄与し、し、クラブレベルを超えたリーダーを育成することである。

ロータリーの原点

相互扶助の精神

Spirit of Mutual Helpfulness

お互いに助け合う
お互いに分かち合う

素朴だが、力強い思想・精神

現代ロータリーにおける “Service” の意味

初期ロータリーでは、正しいビジネスの方法としてのサービス（奉仕=貢献）という意味。

活動分野が広がった現代ロータリーでは、ロータリアンの中心的行動原理として、最も広い意味で使われるようになっている。

「人々の助けとなる、
社会に役立つ価値を提供すること」

「世のため人のために尽くすこと」

ロータリーの歩み

○ 世界平和への礎

- ・ 1940年 RIハバナ大会で「人間尊重を求める」決議案を採択
→**国連憲章のもととなる**
- ・ 1942年 RI第13地区の大会で21カ国政府を代表する関係者を
 ロンドンに招待して教育文化交流機関について協議する会議を開催
⇒後に**ユネスコとして成立**
- ・ 1943年 四つのテスト正式採用
- ・ **1945年 49人のロータリアンが国連憲章起草に参画**
- ・ **1949年 1都市 1 RCのみ設置の規則が撤廃 日本のRI復帰。**全国に複数のRC設立
- ・ 1983年 2700地区から佐賀県&長崎県RCが独立2740地区となる。
- ・ 1983年 佐賀南RCが佐賀RCを母クラブとして設立される。1985年6月2
- ・ 2015年 7つの重点項目の設定

RCの7大重点項目

- 1 平和と紛争予防
- 2 質病予防と治療
- 3 水と衛生
- 4 母子の健康
- 5 基本的教育と識字率向上
- 6 地域社会の経済発展
- 7 環境保全

ロータリーの変革

- ・ 1985年(ロータリー創立80周年) 『ポリオ・プラス計画』発表→
ポリオ撲滅運動の推進
※プラス⇒はしか・ジフテリア・破傷風・百日咳・結核の主要伝染病
(1995年)ポリオ撲滅をRIの最優先事項とする
- ・ 1987年 職業奉仕概念の変更
長期計画委員会(後の戦略計画委員会)
- ・ 1989年 女性ロータリアンを認める→会員基盤の多様性のスタート
- ・ 1991年 団体奉仕活動の提唱
- ・ 1999年 平和フェローシップ
世界8つのロータリー平和センター(日本はICU)で
1,800人以上のフェロー(研究員・専門職)を輩出
平和構築と紛争解決に貢献する人材を育成、
国連、政府機関、世界銀行、NGO、大学等で活躍
- 2015 SDGsの構築 RCでは中核的価値観の創設

21世紀のロータリーとしてRIの方針。

RI戦略計画の三大要点

...Back to Basic...

クラブ活動の原点に立ち返る

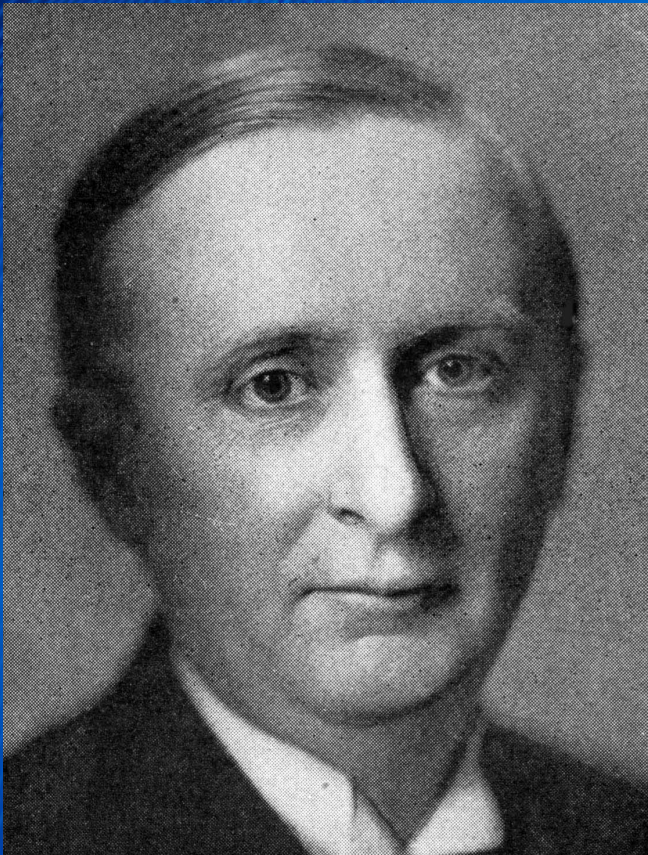
...Collaboration...

効果的な奉仕活動の推進

...Publicity...

公共や社会における存在感の高揚

ロータリークラブ以外の奉仕団体は 職業奉仕の理念を持っていない



Arthur F.
Sheldon

事業の繁栄を願う
職業奉仕理念

He profits most who
serves best

顧客の満足度を最優先して、
自らの職業を通じて他人に
奉仕する

Lionsのモットー

Together We Serve

力を合わせて
奉仕します



ロータリー哲学

Ideal of Service

奉仕の理想（理念）

- ① **He profits most who serves best**
最もよく奉仕するもの、
最も多く報われる。
- ② **Service above self**
「他人のことを思い遣り、
他人のために尽くすこと」

*Service ,not self（自己滅却） フランコ・B・コリンズ

職業奉仕に関する声明



チャールズ・ケラー
Charles
C.Keller

クラブ会員の役割は、

ロータリーの原則に沿って自らの行いと事業と職業を律すること、

また、クラブが開発したプロジェクトに応えることである。

1992年提案

2014年1月 RI理事会

職業奉仕に関する声明(1987年) の変更

職業奉仕理念に本来込められているものは次のものである。

1. 雇主、従業員、同僚への誠実、忠実さ、また、この人たちや同業者、一般の人々、職業上の知己すべてに対する公正な扱いも含まれる。
2. 自己の職業上の手腕を**社会の問題やニーズ**に役立てること。

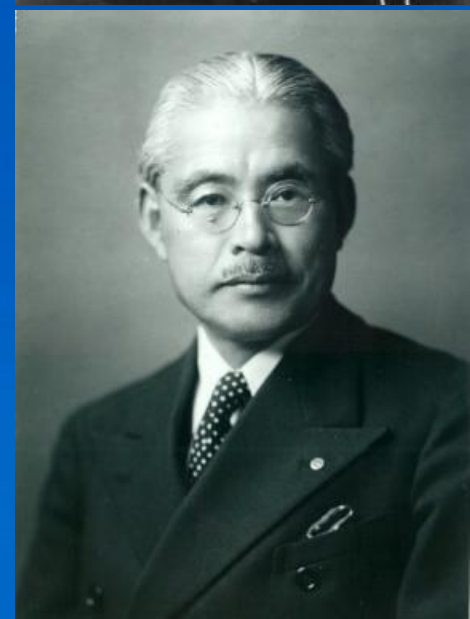
ロータリークラブとクラブ会員両方の責務であることは変わらない。

米山記念奨学会とは何か

- 1 日本のロータリー独特の事業
- 2 優秀な海外からの学生を日本の全RCが育てていくシステム。**カウンセラーがついていることが特徴**
- 3 優秀な人材を育て彼らの出身国と協調し世界の平和と発展を具現化する。
- 4 彼らの国の社会奉仕活動にスポンサークラブとして取り組む、**国際奉仕**

事業のはじまり

- 1946年 米山梅吉氏逝去
- 1949年 日本のロータリーが国際ロータリーへ復帰
- 1952年 東京RCが事業構想
“平和日本”を世界へ
(日本の友人を増やし 平和を
実践する人材を育てる)
- 1957年 日本全国の組織へ
- 1967年 財団法人設立



米山記念奨学会設立趣意書

- この法人は、主としてアジア諸国、又はその他のロータリー所在国の学生又は学者に対し、わが国において勉強又は研究するための奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的として設立する。
- この法人は、昭和24年に東京ロータリー倶楽部が設定し、昭和32年に全国のロータリークラブに参加を求めて以来、逐年発展し今や在日全ロータリークラブの共同事業となり、国際留学生に対する奨学金の支給を通じて、所期の目的たる国際理解と親善にも多大の成果を収めつつある、ロータリー米山記念奨学会の事業と財産を継承し、法人化によってその基礎を確立し、今後一層奨学事業の発展を期するため設立されるものである。
- この法人は、全国ロータリークラブの寄付を主たる財源とし、ロータリー会員によって運営され、ロータリー目的達成に寄与することを目的としている。



米山奨学事業の概要

- 日本のロータリー**独自**の事業
（日本全国34地区の合同活動）
- 日本で学ぶ**外国人留学生**の支援
（公益財団法人を設立し運営）
- **世話クラブ・カウンセラー制度**
ロータリーアンとの交流を重視

クラブが 人を育てる！

奉仕の心、人としての在り方、喜び、誇り
円満な交際（寛容、忍耐、礼節、義理人情）
上手な自己管理（生活、行動、時間）
リーダーシップ、高潔性、友情、敬愛

クラブは 必ず活性化する！

国際ロータリーの標語

Enter to learn, Go forth to serve 20世紀



Join Leader .Exchange Idea.
Take Action

21世紀

標語は変われど基本理念は変わらず。

ロータリアンが**お互いに切磋琢磨し、
自己研鑽によって心を磨くこと、**
これがロータリーの本願であり、
ロータリーの**第一義**なのです。

寄付もボランティア活動もしなけ
ればなりません、
これはロータリーの**第二義**なのです。

私の考えるロータリー感

- 1 ロータリーとは自らの職業を通して地域社会に奉仕する場である。
- 2 クラブの仲間との交流(親睦)を通して自分の体験からだけでは知りえない知識や知恵を学び、人生を豊かにする場である。
- 3 素晴らしいメンバーと語り合えることでいわゆる人間修行の場である。
- 4 結果としてより幅広い人道的な奉仕につながるものだと信じる。
- 5 多様性とは独自性のこと。独自性を尊重しないでDEIや寛容等あり得ません。

「2026年7月21日 卓話」

ロータリーについて考えてみよう

ご清聴ありがとうございました

Rotary



2740地区パストガバナー

日本RLI地区代表ファシリテーター 駒井英基